

「第1回製剤機械技術研究会仲井賞」 受賞者の選考結果について

The 2001 Nakai Award of the Japan Society of Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員長 松田芳久

Yoshihisa MATSUDA

The Chair of the Selection Committee for the Nakai Award

本研究会では、創立10周年を機に、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕揚するために標記の賞を設定し、候補者の推薦をお願いしてきました（本誌Vol. 9, No. 3, 2000）が、本年1月18日の締切日までに2件のテーマについて推薦がありました。会長から指名された選考委員会において提出された推薦書及び関係資料を慎重かつ厳正に審査した結果、下記のように受賞者として対馬氏を決定し、2月28日に会長に報告しました。去る4月16日の本会総会において栄えある授賞式が行われましたが、今秋10月に開催される本研究会の研究大会においても受賞講演が行われる予定であります。

今後、本賞を引き続き多くの会員の方々に授賞できますよう、会員の皆様方の積極的なご推薦をお願いする次第であります。

記

- ・受賞者：対馬勇禧氏（エーザイ(株) EMP 研究室室長）
- ・受賞テーマ：新規速崩錠および湿潤粉体打錠機の開発

・授賞事由：氏は高齢化社会を迎え、服用性や使用性等の便益性に優れた製剤の開発が望まれている状況に鑑みて、急速な口腔内崩壊性の開発を目的とした湿製錠タイプの新規速崩錠とその製法を開発された。

本機の開発によって既に8製剤が実用化されているが、本研究は新規技術を駆使して工業的な量産を可能にする設備開発を実施した事例であり、高齢患者のコンプライアンスの向上に貢献している面において高く評価できる。また、製造方法に関するアイデアにおいても新規性を有しており、多くの学会での発表や学会機関誌への投稿によって公表された本研究の成果は、関連分野の技術進展に及ぼす影響が大きく、貢献度も高い。

以上の事由により、本テーマは授賞に十分に値するものである。